様式１（G-MIS様式）

事業報告書

医療法人整理番号			237	
報告期間	自		令和5年8月1日	
	至		令和6年7月31日	
1 事業報告書の概要				
	(1) 名称		医療法人　至要会	
		分類①	社団（出資持分あり）	分類①から③のそれぞれの項目（③は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。）
		分類②	その他	
		分類③	基金制度不採用	
	(2) 事務所の所在地	都道府県	福井県	複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
		市区町村	鯖江市	
		町名・番地	旭町1丁目2番8号	
		建物名		
			従たる事務所の記載はこちら	
	(3) 設立認可年月日		平成9年3月26日	
	(4) 設立登記年月日		平成9年4月7日	
	(5) 理事長の氏名	姓	広瀬	
		名	真紀	
	役員及び評議員の人数		8	理事長を含む人数を記載すること。
	役員及び評議員		記載はこちら	
2 事業の概要				
	(1-1) 本来業務（病院、診療所）		記載はこちら	
	(1-2) 本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）		記載はこちら	
	(2) 附帯業務		記載はこちら	
	(3) 収益業務		記載はこちら	
	(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項		記載はこちら	
	(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債		記載はこちら	(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。
	(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債		記載はこちら	
	(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設		記載はこちら	
	(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容		記載はこちら	全ての指定内容について記載しても差し支えない。
	(9) その他		記載はこちら	当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

様式１：1-(2)（G-MIS様式）

事業報告書

1-(2) 従たる事務所の所在地

都道府県	市区町村	町名･番地	建物名

様式１：1-(5)（G-MIS様式）

事業報告書

1-(5) 役員及び評議員

役職	姓	名	備考
理事	広瀬	真紀	広瀬病院管理者・理事長
理事	広瀬	慧	院長
理事	下條	途夫	顧問
理事	広瀬	俊	
理事	広瀬	麗	副院長（介護医療院担当）
理事	広瀬	恭子	
理事	泉谷	康仁	
監事	金子	忠弘	

注）１．「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第４２条の３第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

２．理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第４２条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第４６条の５第６項参照）

３．評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第４６条の４第１項参照）

様式１：2-(1)（G-MIS様式）

事業報告書

2-(1) 本来業務

（開設する病院、診療所（医療法第４２条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	指定管理	施設の医療機関コード	開設場所	許可病床数						
					一般病床	療養病床	医療保険	介護保険	精神病床	感染症病床	結核病床
病院	広瀬病院		1810714624	福井県鯖江市旭町1丁目2番8号	28	98	126	23			

注）１．地方自治法第２４４条の２第３項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
２．療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
３．介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

様式１：2-(1)（G-MIS様式）

事業報告書

2-(1) 本来業務
（介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第４２条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	指定管理	施設の介護事業所番号	開設場所	入所定員	通所定員

注）１．地方自治法第２４４条の２第３項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
２．療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
３．介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

様式１：2-(2)（G-MIS様式）

事業報告書

2-(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第４２条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	委託管理	実施場所	備考
該当なし			

注）地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を委託管理の欄に記載すること。

様式１：2-(3)（G-MIS様式）

事業報告書

2-(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第４２条の３第１項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
該当なし		

様式１：2-(4)-(9)（G-MIS様式）

事業報告書

2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

日付	議決又は同意した事項
令和5年10月5日	令和4年度決算の決定
令和6年7月17日	令和6年度の事業計画及び収支予算の決定

注）2-(5)、2-(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

2-(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

発行総額 申込単位	申込期間（開始日） 申込期間（終了日）	利率 払込期日	資金使途	償還方法 償還期限	医療機関債を引き受けた医療法人名
該当なし					

注）医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。
医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、
これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、
かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

医療機関債名	発行元医療法人名	購入総額	償還期間（開始日～終了日）	
該当なし				

注）
１．医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。
２．購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

日付	開設（許可を含む）した主要な施設

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

日付	他の法律、通知等において指定された内容

注）全ての指定内容について記載しても差し支えない。

2-(9) その他

日付	記載事項

注）当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

様式２

法人名　医療法人　至要会

所在地　福井県鯖江市旭町1丁目2番8号

※医療法人整理番号	237

財　産　目　録

（令和　6年　7月　31日現在）

１．資　産　額　2,324,304 千円
２．負　債　額　221,462 千円
３．純　資　産　額　2,102,842 千円

（内　訳）　（単位：千円）

区　分	金　額
Ａ　流　動　資　産	1,472,031
Ｂ　固　定　資　産	852,273
Ｃ　資　産　合　計　（Ａ＋Ｂ）	2,324,304
Ｄ　負　債　合　計	221,462
Ｅ　純　資　産　（Ｃ－Ｄ）	2,102,842

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。
土　地　（□ 法人所有　■ 賃借　□ 部分的に法人所有(部分的に賃借)）
建　物　（■法人所有　□ 賃借　□ 部分的に法人所有(部分的に賃借)）

様式３－１（G-MIS様式）

法人名 医療法人　至要会
所在地 鯖江市旭町1丁目2番8号

※医療法人整理番号 237

貸借対照表
令和6年7月31日　現在

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
Ⅰ　流動資産	1,472,031	Ⅰ　流動負債	142,423
現金及び預金	1,180,664	支払手形	
事業未収金	244,083	買掛金	11,496
有価証券		短期借入金	
たな卸資産	7,959	未払金	123,472
前渡金		未払費用	
前払費用		未払法人税等	
その他の流動資産	34,725	未払消費税等	1,322
未収金	5,588	前受金	
未収収益等	994	預り金	6,133
貸倒引当金	-1,982	前受収益	
		その他引当金	
		その他の流動負債	
Ⅱ　固定資産	852,273	Ⅱ　固定負債	79,038
1 有形固定資産	583,893	医療機関債	
建物	497,265	長期借入金	
構築物	6,497	繰延税金負債	
医療用器械備品	68,593	その他引当金	
その他の器械備品	8,446	その他の固定負債	
車両及び船舶	1,672	退職給付引当金	74,512
土地		長期預り金	4,526
建設仮勘定			
その他の有形固定資産	1,420		
		負債合計	221,462
		純資産の部	
		科目	金額
		Ⅰ　出資金	50,000
2 無形固定資産	5,698	Ⅱ　積立金	
借地権		代替基金	
ソフトウェア	4,170	繰越利益積立金	744,842
その他の無形固定資産	1,528	その他積立金	1,308,000
3 その他の資産	262,682	Ⅲ　評価・換算差額等	
有価証券	7,831	その他有価証券評価差額金	
保有医療機関債		繰延ヘッジ損益	
その他長期貸付金			
役職員等長期貸付金			
長期前払費用	33,573		
繰延税金資産	20,772		
その他の固定資産	200,506		
		純資産合計	2,102,842
資産合計	2,324,304	負債・純資産合計	2,324,304

（注）１．表中の固定された勘定科目については、変更しないこと。
２．表中の選択可能な勘定科目については、プルダウンにより適切な勘定科目を選択すること。
リストにない勘定科目がある場合は、リスト中の「その他○○」を選択すること。

様式４－１（G-MIS様式）

法人名 医療法人 至要会
所在地 鯖江市旭町1丁目2番8号

医療法人番号	237

損　益　計　算　書

自　令和5年8月1日　　至　令和6年7月31日

（単位：千円）

科目	金	額
Ⅰ　事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		1,618,381
2 事業費用		
(1) 事業費	1,623,444	
(2) 本部費	0	1,623,444
本来業務事業損失		-5,063
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
附帯業務事業利益		0
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業損失		-5,063
Ⅱ　事業外収益		
受取利息	238	
その他の事業外収益	28,959	29,197
Ⅲ　事業外費用		
支払利息	0	
その他の事業外費用	100	100
経常利益		24,034
Ⅳ　特別利益		
固定資産売却益	0	
その他の特別利益	0	0
Ⅴ　特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	3,442	3,442
税引前当期純利益		20,592
法人税・住民税及び事業税	4,752	
法人税等調整額	241	4,993
当期純利益		15,599

（注）１．利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること（自動表示）。
２．表中の勘定科目については、変更しないこと。
３．表中の選択可能な勘定科目については、プルダウンにより適切な勘定科目を選択すること。
リストにない勘定科目がある場合は、リスト中の「その他○○」を選択すること。

様式5

法人名　医療法人　至要会

所在地　福井県鯖江市旭町1丁目2番8号

※医療法人整理番号	237

関係事業者との取引の状況に関する報告書

（1）法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額（千円）	事業の内容	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
該当取引なし									

（取引条件及び取引条件の決定方針等）

（2）個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
該当取引なし							

（取引条件及び取引条件の決定方針等）

様式６

監　事　監　査　報　告　書

医療法人　至要会
理事長　広瀬　真紀　　殿

私は、医療法人至要会の令和５年会計年度（令和５年８月１日から令和６年７月３１日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

(1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。

(3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

(4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和　６年　１０月　５日
医療法人　至要会
監事　金子　忠弘